

1 輸送運営計画V2とは

- 組織委員会及び東京都が、提供する輸送サービス等について、輸送運営計画V1策定（2017年6月）以降、関係機関と調整してきた内容を取りまとめた計画

2 策定の目的

- 大会における輸送目標や戦略、提供する輸送サービス等を含め、輸送の全体像を明確化する。
- 輸送の全体像について、関係者や市民と共有する。
- IOC、IPCに最新の輸送計画を報告する。

3 主な内容：輸送運営計画V1から更新し充実させた点

- 大会関係者(選手やメディアなど)の輸送
 - ・提供する輸送サービスの起終点、方法及び期間などをより具体的に記載
- 観客・大会スタッフの輸送
 - ・各種想定される輸送モードを列挙、主要なモードについて具体的に記載したほか、鉄道の輸送力・サービス増強に向けた取組やアクセシビリティに対する考え方を記載
- 競技会場における輸送
 - ・競技会場毎の輸送ルート(関係者輸送ルート(ORN/PRN)(案)及び観客輸送ルート(案))を明確化し、該当する輸送モードを記載したほか、観客利用想定駅を更新し、会場周辺の交通対策(案)を記載
- 輸送の連携体制
 - ・輸送センター(TROC)の設置と役割・機能を明確化、バスオペレーションセンター(BOC)、フリートオペレーションセンター(FOC)などの機能とそれらの連携体制などを記載
- 交通マネジメント
 - ・交通マネジメントの実施目標を設定し、施策を具体的に記載（基本的な考え方、交通需要マネジメント(TDM)、交通システムマネジメント(TSM)、公共交通輸送マネジメントの取組、今夏の試行など）

4 今後のスケジュール（2019年）

- 6月19日 東京圏輸送連絡調整会議開催・輸送運営計画V2(案)公表・調整を踏まえ、適宜修正・更新
その後、IOC/IPCへ提出
12月末 輸送運営計画V2策定（予定）

輸送運営計画V2(案)[2019.6.19版]の主な記載内容 (1~7章)

1 はじめに

○本計画の目的、構成 など

2 輸送目標及び戦略

- 輸送目標及び輸送戦略を記載（以下は、輸送目標）
 - ・ステークホルダーの特徴やニーズを踏まえた質の高い輸送サービスを提供する。
 - ・大会に係る円滑な輸送の実現と、都市活動の安定の両立を図る。
 - ・障がい者等を含む全ての人々にとってのアクセスのしやすさ（以下、「アクセシビリティ」という。）の更なる向上を図る。
 - ・環境にやさしいオリンピック・パラリンピック競技大会の輸送を実現する。
 - ・将来社会に生きる輸送のレガシーを残す。

3 役割及び責任

○組織委員会、開催都市である東京都の役割及び責任 など

4 輸送に関する推進体制

○東京圏及び各道県輸送連絡調整会議、交通輸送技術検討会、2020交通輸送円滑化推進会議の概要及び関係性の輸送の検討体制 など

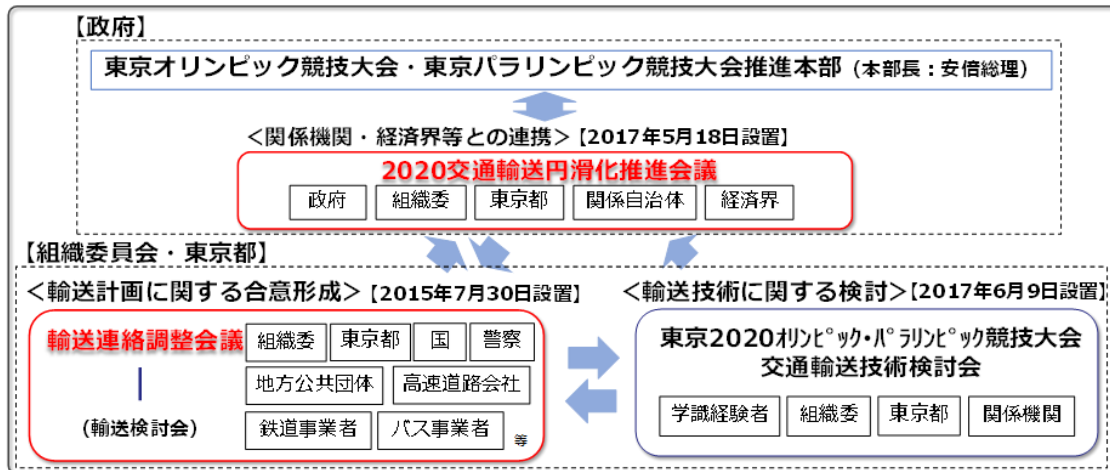


図1 輸送の推進体制

5 ステークホルダー

○選手やメディア等の大会関係者及び観客の人数（現時点の想定）など

6 競技日程及び会場

○輸送の運営時間の前提となるセッションスケジュール、輸送の起終点となる競技会場、非競技会場、その他施設の種類の種類・場所など

7 大会関係者の輸送

- 大会関係者(選手やメディア等)へ提供する輸送サービスの概要(TA、TM、TFサービス、出入国輸送サービス、開閉会式輸送サービスなど)
- オリンピック・ルート・ネットワーク(ORN)、パラリンピック・ルート・ネットワーク(PRN)の設定の考え方及びルート案
- デポ、車両待機場の位置とレイアウト など

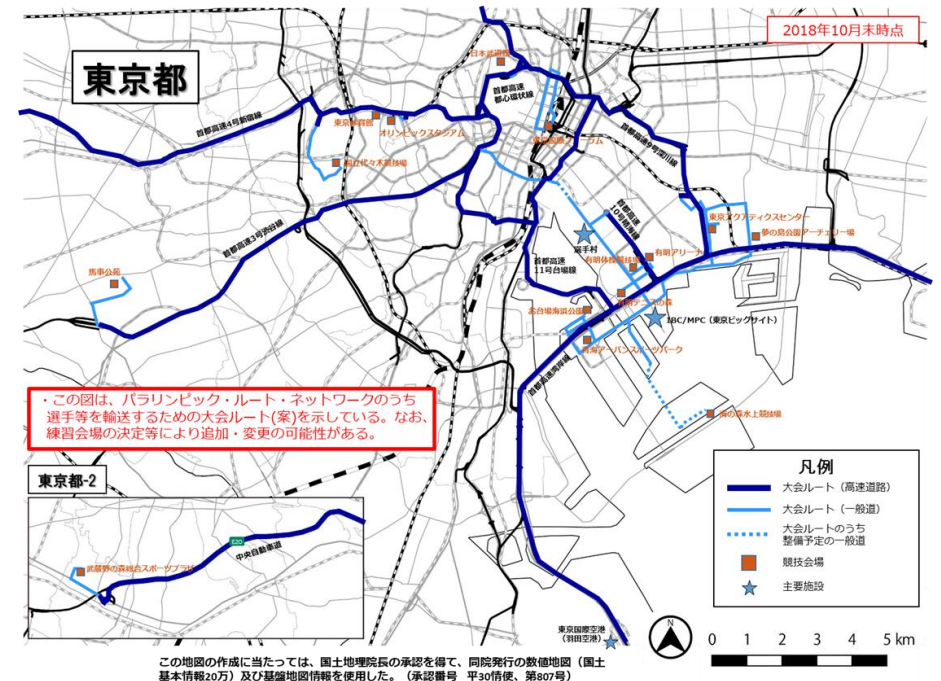


図2 東京都内のPRN

【凡例】赤字は輸送運営計画V1(2017年6月5日策定)以降、追加した章、項目

輸送運営計画V2(案)[2019.6.19版]の主な記載内容 (8~13章)

8 観客及び大会スタッフの輸送

- 観客・大会スタッフ輸送の基本的な考え方
- 深夜時間帯（通常時の終電終了後）の列車運行を予定している路線 など

9 競技会場における輸送(会場輸送)

- 東京圏及び地方会場(東京圏外)の競技会場における輸送の概要(会場毎の輸送ルート(案))
 - 観客利用想定駅
 - 非競技会場(練習会場、IBC/MPC、選手村/分村/公式選手ホテル、宿泊施設、公式出入国地点)における輸送
 - 車両認証/駐車許可(VAAPs)の概要
 - 広域、会場周辺及び会場直近において段階的に実施する交通対策の考え方、会場周辺の各エリアの概念 など
- ※議題3で報告

① 進入禁止エリア (セキュアペリメーター)

会場等を囲む物理的な境界線。大会関係車両以外の進入を禁止するエリア

② 通行規制エリア (会場直近対策)

規制標識を設置し、警備員による誘導により通過交通を制限する。

③ 迂回エリア (トラフィックペリメーター)

案内看板や広報等により、会場直近を通り抜けしよとする車両に迂回を促すエリア。

④ 専用レーン (専用通行帯) 優先レーン (優先通行帯)

規制標識等を設置し、大会関係車両の通行帯を指定。

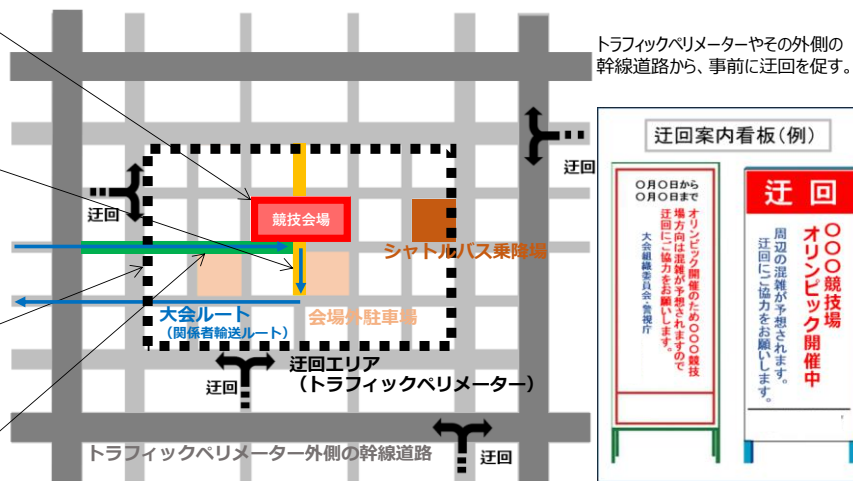


図3 会場周辺の交通対策の概念図

10 開閉会式における輸送

- 日程
 - オリンピック開会式 2020年7月24日 閉会式 8月9日
 - パラリンピック開会式 2020年8月25日 閉会式 9月6日
- 今後、開閉会式の具体的なスケジュールや検討に合わせ、輸送のスケジュールや会場周辺の交通対策等について検討 など

11 輸送の連携体制

- 輸送センター(TROC)の役割・機能
- バスオペレーションセンター(BOC)、フリートオペレーションセンター(FOC)の役割・機能 など

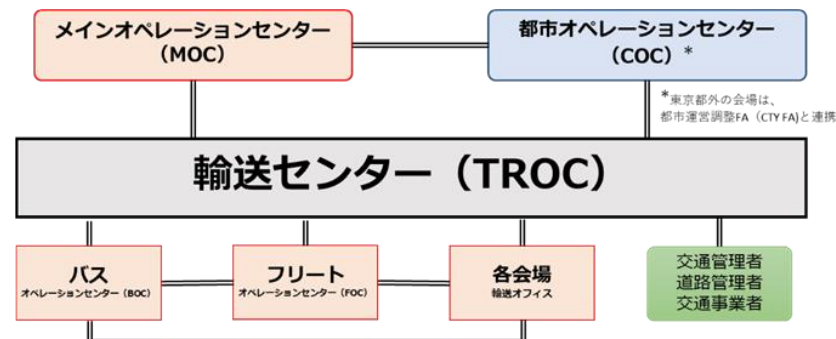


図4 東京圏の連携体制

12 輸送のセキュリティ

- 目的、今後の進め方 など

13 リスク管理

- 輸送のリスクと対処の考え方 など

【凡例】赤字は輸送運営計画V1(2017年6月5日策定)以降、追加した章、項目

輸送運営計画V2(案)[2019.6.19版]の主な記載内容 (14~21章)

14 交通マネジメント

- 大会時の交通状況、大会輸送を安全・円滑に行うための基本的な考え方、大会期間中の実施目標
- 交通需要マネジメント(TDM)、交通システムマネジメント(TSM)、公共交通輸送マネジメントの概要
- 道路交通に対する追加施策の検討
- 交通マネジメント推進に向けた試行 など

凡例	【道路交通】	【公共交通】
<ul style="list-style-type: none"> 大会関係者輸送 観客輸送 大会関係物流 	<p>大会輸送</p> <p><拠点間></p> <ul style="list-style-type: none"> 【選手、メディア、競技団体等】⇒専用のバス 【IOC/IPC役員等】⇒専用の乗用車 【大会関係物流】 <p><会場周辺></p> <ul style="list-style-type: none"> 一般車両の迂回等を促すエリアの設定等 	<ul style="list-style-type: none"> 【スタッフ等】⇒鉄道 【観客】⇒鉄道(会場入退場の分散等) <ul style="list-style-type: none"> 駅と競技会場間のルート設定等
	<p>交通システムマネジメント(TSM)</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通規制等(高速道路の交通量調整、一般道における車両通行禁止区域の設置等) 	<p>公共交通輸送マネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 運行管理、駅等での旅客案内 輸送力増強・時差出勤/テレワーク等
	<p>交通需要マネジメント(TDM)</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通需要の低減の働きかけ 想定される混雑を回避するアクションプラン作成と実行 	

図5 交通と輸送の関係



図6 TSMによる流入調整のイメージ

15 車両の調達・管理・運用

- バス車両、フリート車両の調達方法、車種、車両の管理 など

16 パラリンピックへの移行

- 輸送における移行の概要、主な移行作業の内容 など

17 輸送の広報

- 輸送における広報、今後の進め方 など

18 輸送スタッフ

- 輸送スタッフの種類、訓練 など

19 輸送のテスト

- 輸送のテストの種類、想定する内容 など

20 輸送の持続可能性

- 目標・方針、持続可能性の主要テーマ など

21 輸送のレガシー

- アクセシビリティや交通マネジメントを含めたハード・ソフトのレガシー など